



平成29年4月27日

第48号

さくほ

2017 4

議会だより



6年生の自覚、1年生のときめき
佐久穂小学校入学式

[3月定例会 次期政権へゆだねる骨組み]
新たな佐久穂の将来に向けて
平成29年度予算を可決

[一般質問は4人]

統合小中学校2年が経過して
国保税の負担軽減を

[追跡 一般質問その後どうなった]

役場庁舎候補地の検討は

平成29年度一般会計予算を可決

新たな取り組みを含めた「骨格予算」

平成29年3月定例会は3月3日から16日までの14日間で開催されました。

3月定例会は、平成29年度一般会計予算を中心に、

会期中に追加提出されたものも含めて議案30件、報告2件、承認1件、陳情2件が審議されました。

また、開会当時、地方自治法に則した

形に修正した

佐久穂町議会

会議規則の一

部を改正する

規則の制定に

ついて発議

されました。

議案に関し

ては、委員会及び本会議において審議し、討論を経て採決をし、全てが可決されました。

空家対策は重点課題



一般会計予算は、町長選を控えた状況での「骨格予算（※）」となっており、前年度に比べ、9億6,400万円低い73億1,300万円となっています。

また、空き家対策事業や小規模事業者持続化補助金など、新たな取り組みなども予算化されました。

今年は、7月から2カ月

間、地元観光関係者や自治

体と協力し、全国の旅行会

社等の協力を得ながら、全

国にその地域を旅行先とし

てPRする国内最大級の観

光キャンペーンである「信

州ディスプレイネーション

キャンペーン」が行われる

ため、八千穂高原への旅客

空き家対策事業や

小規模事業者持続化補助金も

まで小海と南牧で行われた「小海線まつり」が八千穂駅周辺で開催されることに伴う予算が計上されました。

最終的には、補正により予算規模は約5億円ほど大きくなることが見込まれています。



国保特別会計

補正予算で「繰入」

平成28年度一般会計補正予算では、国民健康保険特別会計に対し、1億4,500万円の繰入措置が行われました。

原則的には貸付を主としており、今回のみの対応となります。

（※）骨格予算とは、首長選を控えた自治体が最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算で、例年より小さくなります。



平成29年度 佐久穂町の 一般会計当初予算を公表します

平成29年度の一般会計歳入歳出の総額は、それぞれ73億1,300万円、前年度比9億6,400万円の減額となっています。今年度は、任期満了に伴う町長・議会議員選挙が年度当初に控えているため「できるだけ政策的な予算を除外した骨格予算」として編成されました。

ただし、4月からの住民サービスには支障をきたさない予算編成となっています。

また、昨年に引き続き、選択と集中により町のコミュニティ創生戦略の重要な課題に、重点的な予算配分を行うとともに、第1次行財政改革大綱を踏まえ、引き続き事業費等の見直しを図っています。

コミュニティ創生対策

➔ 集落活性化に向けた集落点検事業の推進
地域おこし協力隊事業（1名増員）

商工観光対策

➔ 小規模事業者持続化補助金
信州アスティネーションキャンペーン関連事業
小海線まつりin佐久穂（仮称）の開催

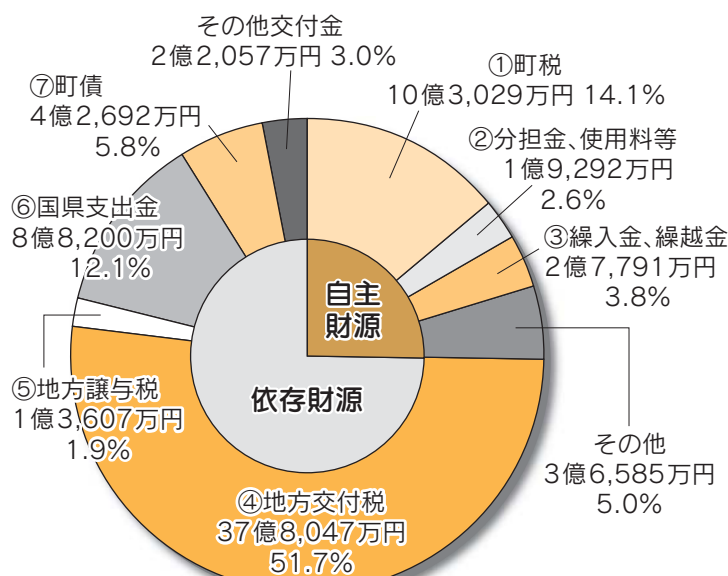
林業振興対策

➔ 町有林の更新伐・間伐・植林の実施

教育環境の充実

➔ 信州型コミュニティスクール事業
「キャリア教育副読本（森林版）作成」

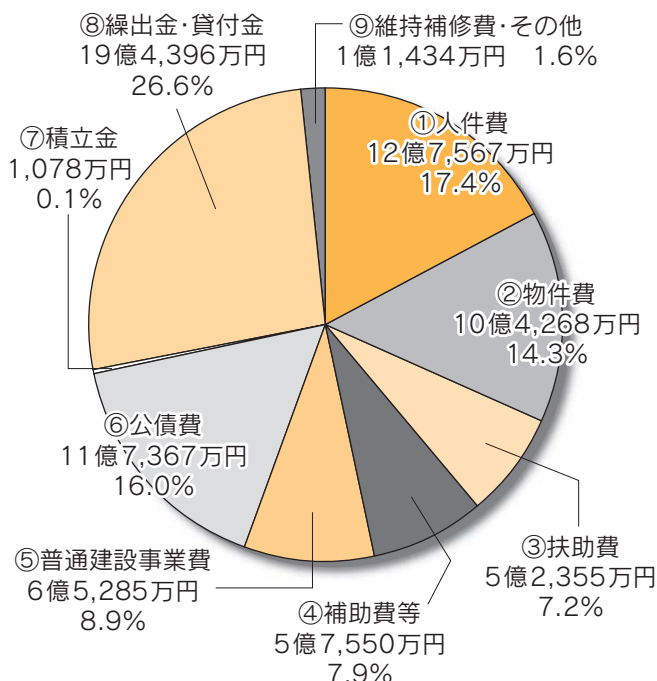
歳入予算 総額73億1,300万円



歳入のポイント

- ①町税は、10億3,029万円（14.1%）で前年度比890万円の増額です。主に給与の伸びによる個人町民税の増、重課税適用による軽自動車税の増を見込んでいます。
- ③繰入金、繰越金は、2億7,791万円（3.8%）で前年度比3億1,287万円の減額です。これは、主に臨時財政対策債の期日一括償還分に充てた減債基金からの繰入金の減によるものです。
- ④地方交付税は、37億8,047万円（51.7%）で前年度比2億9,308万円の減額です。これは、国の地方財政計画及び合併して10年を経過したことにより合併算定替保障率が段階的に減となること、償還終了の起債が増えたことによる減を見込んでいます。
- ⑥国県支出金は、8億8,200万円（12.1%）で前年度比1億3,570万円の減額です。これは、主に臨時福祉給付金事業縮小に伴う国庫補助金の減、森林造成事業県補助金の減、都市再生整備計画事業終了に伴う交付金の減によるものです。
- ⑦町債は、4億2,692万円（5.8%）で前年度比8,781万円の減額です。これは、主に佐久総合病院本院整備工事等で借り入れた合併特例債の減によるものです。

歳出予算 性質別 総額73億1,300万円



性質別の歳出予算のポイント

- ②物件費は、10億4,268万円（14.3%）で前年度比1億5,592万円の減額です。これは基幹系システム共同化事業により平成28年10月から他市町村と共同利用の新システムへ移行したことによる電算使用料・委託料の減等によるものです。システムを他市町村と共同で利用することでコスト削減に努めています。
- ④補助費等は、5億7,550万円（7.9%）で前年度比1億7,427万円の減額です。これは佐久総合病院本院再構築に係る負担金の終了、臨時福祉給付金減額による事業費の減等によるものです。
- ⑤普通建設事業費は、6億5,285万円（8.9%）で前年度比6,681万円の減額です。これは骨格予算編成により、政策的経費を当初予算から除いたことによる減等です。
- ⑥公債費は、11億7,367万円（16.0%）で前年度比4億2,613万円の減額です。償還終了の起債が増えたためです。
- ⑧繰出金・貸付金は、19億4,396万円（26.6%）で前年度比1億485万円の減額です。前年度、国民健康保険特別会計への貸付金の一部を清算したことや、老人保健施設特別会計、索道事業特別会計への貸付金を短期貸付から長期貸付にしたことに伴う貸付金の減等によるものです。

小中学校統合前の環境と 比較しての変化は

井出正臣



統合小中学校 2年間を振り返って

問 統合前の学校環境と比較しての変化は何か。

教育委員長 統合前の小中学校の良いところを取り入れて、様々な活動を行ってきたと思います。とはいえ、再度一からの計画なので苦労は絶えませんが、これが新たな伝統となり継承されていくと考えています。

教育長 校舎の環境は良く、中学校の部活動においては、大会での活躍が目覚ましい状況にあります。休み時間に小中学校の児童・生徒が一緒に過ごす姿は他校にない良さのひとつです。

課題としては、朝のバスごとの到着時間の差や、バス通学による体力低下が挙げられます。

一貫校による感染症蔓延が心配されましたが、加湿を充分するなど配慮を徹底したことにより、ある程度は予防できています。

林業を中心とした小中学校で継続したキャリア教育は他に例がなく、子どもたちが佐久穂の良さを感じるきっかけとなっています。

問 町内の学校長により組織された校長会が存在していたが、統合小中学校になった現在も存在するのか。またその意義は。

教育長 校長会は存在しています。併設する二つの学校に対し、情報伝達や情報共有、教育委員会や子ども課との協議を行ううえで、統治の一元化を目的として機能しています。

問 小中一貫教育により中一ギャップは解消されたか。

教育委員長 学校生活の日常や部活動の様子を普段から見ることで、中学校へあがることへの不安は解消されてきていると報告を受けています。

教育長 5年生から中学校の先生が乗り入れて授業を行うなどの連携はとっていますが、中学校になると学習内容が大きく変わります。まだ開校して2年という浅い期間ですので、ギャップ解消に向けて検証していきます。

町内の森林・河川整備

問 国や県、町の管理が混在する森林や河川だが、環境整備のためのガイドラインを町がもつべきではないか。

町長 国が管理する一級河川については、町から河川に親しむことを目的とした要望を出し、県が管理するダムなどは町のお祭りに合わせ開放しています。

森林については、補助金などを利用して、経済的価値が発揮できる財産として管理しているところとあります。

問 レジャーとして佐久穂町の河川を訪れた利用者が不便や問題を感じる状況に対する対応は。

町長 問題等がある場合は、まず、



河川整備で来町者にも気持ちのよいレジャーを

その地域の区長や漁協などが把握し、佐久建設事務所に伝えて対処することになっています。釣り場としての環境維持に関しては、漁協が草刈りなどを行って管理しています。

教育長 校舎一体型小中一貫校として、すべての生徒が一緒に過ごし、交流する姿は今までになく、他の学校にもない良さです。

一般会計からの繰り入れでこれ以上の国保税値上げの中止を

井出 清 嗣



問 平成23年度から5年連続の国保税引き上げにより、住民の負担は限界を越えている。6年間で50%近く負担増の家庭もある。一般会計から繰り入れを。

町長 平成22年度まで税率を据え置いてきたが、基金がなくなっただけ引き上げてきた。さらに不足分も借り入れで対応してきたが、国保会計の状況は、①被保険者数の減少。②年金生活者を中心とする低所得者数の増大。③佐久地域の医療水準の高さなどを考えると特別会計の枠内のみでの精算は難しい状況です。

国民健康保険は、民間の事業者が代わってできない事業であり、他の保険に加入できない方が最後に入る保険であることを考え、今後の被保険者や次の世代の方の負担のことも考えて、今回の補正予算で27年度末までの借入金1億4,500万円を一般会計から繰り入れを行うことを提案します。

町長 今回、平成27年度までの借り入れ分を繰り入れます。

した。

住民税務課長 6年間で50%近く税が上がったのは事実ですが、平成22年度はずっと据え置いてきたので低かった。平成28年度は一時的所得の増加があり、高くなったという事情があります。

問 今回の町長の英断を大いに評価したいと思います。たまたま平成27年度の医療費が低かったことも幸いでした。しかし平成28年度また大幅に借り入れが必要なの状況になっています。今後の運営を注視したい。

平成30年度から国保が県営化されるが、県平均比で医療費が9割、住民所得は8割程度と低い佐久穂町の状況では、保険税が現在より下がる可能性があると思うがどうか。

住民税務課長 1,700億円の国費が予定どおり投入されるか等いろいろな状況が確定しないと何とも言えないが、8月ごろに見通しが出る予定です。

問 佐久穂町では、低所得層ほど保険税額が県平均より高くなっているが、これも見直すのか。

住民税務課長 確かに均等割、平等割の応益負担の分が高いので、検討する必要があります。

問 人工透析患者の通院費増大問題で、社協の制度が利用できないことで社協と協議すると答弁されたが、協議されたのか。

町長 福祉有償運送事業者（社協）に対し改善を期待する趣旨で「改めるべき」と申し上げた。

健康福祉課長 協議の結果、社協では現職員体制では受け入れできない。との回答でした。町で財源補填をしても同じとの事でした。

問 社協で無理なら、町としてどのように負担軽減を図る考えか。

健康福祉課長 一つは医療費等の割合が生活費に比べ高いことで生活保護制度の適用、もう一つは通院交通費に係る助成制度を研究したいと考えています。

問 透析そのものも多大な医療費がかかっている。これを減らす手立ては。

健康福祉課長 ①健診未受診者への訪問勧奨。②健診の充実。③特定健診と保健指導の実施。

④食事や運動指導などのフォローアップ検査。⑤体重を減らす指導。⑥精密検査を受けるよう指導などにより、透析におちいる人を減らすよう取り組んでいきたいと思っています。



医療を安心して受けられる町を目指して（千曲病院外来待合）

「がん教育」への取り組みは

岡 部 勝 一



問 改正がん対策基本法が、衆院本会議で可決され、文部科学省は「がん教育」を学校において、全国展開することを目指しています。佐久穂町としての取り組みを、お聞きします。

教育委員長 県教委では、

新たな取り組みではなく従来の「がん教育」の手引きを用いた研修会や、学校への個別対応をさらに推進していくとのことです。

県と歩調を合わせ、従来からの取り組みを継続かつ推進したいと考えています。

問 国内に於いては、二人に一人が「がん」に罹患する今、是非小さな時から知識や体験談を学習し、命の大切さを知ることが必要だと思います。

こども課長 生徒・家族・親戚など対象者に対する配慮が、教育の中で課題だと捉えています。

問 通学路の安全対策について、お聞きします。

教育委員長 学校、保護者の代表、道路管理者、警察

などで組織された「通学路安全推進会議」で対応しています。

こども課長 各PTAの支部長が、区長の同意で対応しています。

問 グリーンベルトの意味と、今後の設置についてお聞きします。

こども課長 ドライバーに歩行者優先であると、認識させる目的があります。啓発が遅れていますので、今後周知します。

平成27年度で約2・4km、平成28年度700m実施しました。平成29年度は、1・4kmを予定しています。

問 通学路等への路面に凸凹を付ける「ハンプ」、この先狭くなりますよとの「シ

ケイン」、この道路は制限速度30kmですよ、などの「ゾーン30」等の道路表示が安全につながると考えるが、対応をお聞きします。

こども課長 幹線道路に囲

まれた市街地、住宅密集地面的にという規定があります。東信管内にも一部実施例がありますが、当町には申請しても、通らないことも考えられます。

問 「子供を守る安心の家」のぼり旗が古くなり、見られなくなっているが、どうするののか。

こども課長 在庫がなくなっています。主体となる窓口をどうするか。防犯協会などと相談していきます。

問 学校応援団の「見守り隊」の安全対策はどうなっているのか。

こども課長 黄色いスタッ

フジャンパーを着用していただいています。全国町村会の「ボランティア保健」に加入しています。

問 保育所苦情解決第三者委員会の設置の理由は。

こども課長 町に「保育所苦情解決実施要綱」としてつづつてい

ます。趣旨として、社会福祉法82

条の規定を踏まえ、苦情に対して適切かつ円満に解決することにより、利用者個人の権利を擁護するなどへの対応です。

直接保育園に言えなくても、委員を通

じ、町へのつながりをいただきます。要綱上、委員は3名です。任期は3年になります。「苦情が出ない健全保育を望みます。」



子どもたちの安全を確保するグリーンベルト

教育委員長

教育委員会と歩調を合わせ継続・推進を考えています。

郷土資料館を 設置すべきでは

小宮山 雅 則



郷土資料館について

問 多くの郷土資料が倉庫等に保管されていることを聞くが、どのようなものがどのくらいあるのか。

教育委員長

文化財や郷土資料の保管は、興水太伸氏のコレクション、白倉コレクション、考古資料、古文書、化石、民具、町誌編さん資料、文化財、民具類など町内8か所の施設に点在し保管されています。合計で10万点余りあると確認されています。

問 歴史や郷土文化を育み将来歴史となりうる現在を刻み、それを次世代に確実に承継するためには、郷土資料館が必要ではないか。

生涯学習課長

歴史や郷土文化というものを育んで、

それを次世代に確実に承継するということとは重要と考えています。

資料館の必要性については、平成23年度当時に検討されており、資料館設置の必要性といたってはあります。

これから集約した施設を考えていかなければいけません。今のところ教育委員会としては、その状況になっておりません。

問 郷土資料館として、学校跡地を利用することは考えなかったのか。

生涯学習課長

学校跡地を利用する検討を行い、その意見を提言した経過があります。最終的には平成27年



茂来館に展示される文化財

を考えたかどうか。近くには、天神町の古い街並みや、酒の資料館、町の奥村土牛美術館もあるので、文化拠点、文化区域として位置づけたらどうか。

生涯学習課長

八千穂中学校は、そういったことができる場所ではあるということとは、提言の内容に入っていますけれど、町の方針に従っているということですね。

〔質問のまとめ〕

平成29年度から10年間で計画期間とした第2次総合計画が策定されました。その中には資料館の早期設置を目指すがあります。

教育委員会は熱意をもって町部局に要請し、郷土資料館を実現していただくよう要望しました。



多くの文化財が保管される旧公民館

教育委員長

資料は10万点余りあります。今後調査を進めていくことが必要です。

委員会活動から

委員会審査

総務文教常任委員会

予算関係

平成28年度一般会計補正予算（補正第8号）

佐久穂小学校特別支援学級増設費用408万8千円を補正。

平成28年度一般会計補正予算（補正第9号）

歳入歳出予算の総額から1億675万1千円を減額し、歳入歳出予算総額を83億1,630万5千円とするものです。

事業等の確定に伴う補正が主であり、国民健康保険特別会計の歳入不足に対する貸付金1億4,500万円は、貸付金から繰出金に変更されました。

平成29年度一般会計予算

歳入歳出予算総額は、歳入歳出それぞれ73億1,300万円の骨格予算です。

新規及び特別事業として、

- * 空き家対策事業220万円。
- * 広報さくほ集落支援新聞掲載223万6千円。
- * 信州デスティネーションキャンペーン事業585万7千円。
- * 小海線まつり補助金274万3千円。
- * こどもセンターワークショップ時の託児委託料2万2千円。

こどもセンターワークショップ時の託児委託料は、委託先に問題があるとして委員会審査報告書に付帯意見を付すことにし、賛成多数で原案のとおり可決。

付帯意見は、託児は委託でなく直営で行うものとして、支出科目の組み換え（委託料を賃金に）の検討をすること。委託料で予算執行の場合は、事前に業務委託契約書（案）を本委員会に提出することの2項目です。

平成29年度から空き家補助金制度創設

事業	事業内容	補助率	補助金上限額
空き家整備事業	空き家の家財道具処分や、屋内・屋外の清掃等に要する経費について補助	2分の1	10万円
空き家改修事業	空き家の改修（水回り、内装、屋根、外壁、下水接続等）に要する経費について補助	2分の1	50万円
空き家解体事業	年間を通じて居住されていない空き家の解体に要する経費について補助	2分の1	50万円

※ 補助要件等があります。

条例の制定及び改正

佐久穂町税条例等の一部を改正する条例

個人住民税における住宅ローン控除制度の適用期間を平成41年までを平成43年まで延長。

平成29年4月1日施行

消費税率引き上げ実施時期の変更に伴い、法人住民税の法人税割の税率引き下げの実施時期及び軽自動車税における環境性能割導入時期の変更に対応した所要の規定整備。

佐久穂町いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定

佐久穂町いじめ問題対策連絡協議会の再構築、佐久穂町いじめ問題調査検討委員会及び再調査委員会設置。

平成29年4月1日施行

佐久穂町消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員確保が困難な状況となっていることから、団員の定年による退団の回避と、30代から40代のUターン者等の加入促進、更に主婦層の女性団員の加入も視野にいたった促進を図るため、年齢に関する定めの見直しを行い、団員は「50歳未満の者」とする上限を撤廃。

平成29年4月1日施行

辺地に係る総合整備計画の変更

佐口辺地と上野辺地を佐口・上野辺地に統合すると共に、辺地に係る総合整備計画の内容にデマンド交通システム車両購入事業、スクールバス購入事業及び道路整備計画を追加。

経済福祉常任委員会

平成28年度佐久穂町一般会計補正予算 (補正第9号)

産業振興課

- 林務係 農林水産業費 県補助金
補助金なし △31,587千円
更新伐事業によるカラマツ売払収入 △15,192千円
- 農林水産業費 林業振興費
更新伐事業減 △59,188千円
- 建設課 緑越明許費
- 農林水産業費 農業費
町単土地改良事業 高野町用水の改修関連 16,000千円
農業基盤整備促進事業 馬越用水の改修 24,000千円
- 土木費 道路橋梁費
町単道路維持改良事業 上区竹ノ鼻橋架替 27,000千円
高速道路推進事業 インターチェンジ負担金等 54,890千円

平成29年度佐久穂町一般会計予算

健康福祉課

- 民生費 社会福祉一般経費 臨時給付金（消費税率が上がることによる非課税世帯への給付処置）
37,500千円（1人15,000円で2500人分を見込む）
老人福祉一般経費 勝間園、美ノ輪荘の建設負担金の支払いは平成28年度中に終了
- 衛生費 保健衛生一般経費
チャレンジデー実行委員会補助金 650千円計上
（住民参加型のスポーツイベント 全国一斉 5/31 当町は企画検討中）
佐久総合病院本院の改築は完了する 負担金 107,960千円を平成28年度中に支払う

産業振興課

- 林務係 農林水産業費 森林造成事業 佐久穂町森林整備事業 92,192千円計上

更新伐事業、作業道	87,052千円
学校林整備	1,998千円
松くい伐倒くん蒸	3,142千円
補助金のない場合は町単で実施する	
● 商工観光 商工費 商工費一般経費	
DC関連シャトルバスの運行委託料	3,104千円
白駒線バス運行事業委託料	3,000千円
DC関連小海線まつり実行委員会補助	2,743千円
県の元気づくり支援金を見込む	
林務、総務一般経費 有害獣駆除報償金	11,710千円
ニホンジカ1,000頭 イノシシ50頭 中型獣300頭を見込む	
● 建設課 衛生費 合併処理浄化槽設置事業	2,488千円
（5人槽5基、7人槽2基）	
農林水産業費 農地費一般経費	
八千穂農水管理委託料	1,410千円
農業基盤整備促進事業	30,996千円
（馬越用水測量設計及び工事費）	
土木費 土木総務一般経費	
十石トンネル整備促進期成同盟会	150千円
辺地対策事業 東電導水管補強工事負担金	9,180千円
高速道路推進事業 大型看板設置工事	44,280千円

平成29年度介護保険特別会計予算

今まで全国一律の介護サービス体型が町独自の区分に変更、要支援者が受けられるサービス選択が広がり安価な料金でも受けられるようになる 4,864千円が計上
1,736千円の減額となる

平成29年度農業集落排水事業特別会計予算

一般会計からの繰入金 58,148千円
事業費（上区、花岡区、崎田区、うそのくち区）

平成29年度索道事業特別会計予算

一般会計からの借入金 79,641千円

平成29年度老人保健施設特別会計予算

一般会計からの借入金 41,462千円

佐久穂小学校・中学校 授業参観と給食試食会

去る2月16日、議員全員で佐久穂小・中学校全クラスの授業参観と給食試食会を行いました。また、食物アレルギーのある児童生徒についても十分な対応がされており、学校給食の安全性も実感しました。

中学生は静かながらも先生にツツコミを入れたりして、時には笑いのある授業で微笑ましい場面もありました。

給食試食会は、1年生から5年生のクラスに議員一人が入り、児童と一緒に食べました。何十年ぶりの学校給食は、おい



請願★陳情

陳情

陳情第1号
「共謀罪」創設に反対する
陳情書

陳情者
ピースアクション佐久
代表者 望月 清泰

継続審査

陳情第2号
中部横断自動車道八千穂
高原～長坂間の早期整備
に関する陳情書

陳情者
八ヶ岳地区野菜輸送協議会
会長 小池 和幸

全員賛成で採択

討論！ 賛成○ 反対×

議案第15号 平成29年度一般会計予算

議案第23号 平成29年度佐久穂町索道事業特別会計予算

返済の目途の立たない事業に対し貸付を行う一般会計予算と、借入に依存する索道事業特別会計の双方に反対をする。

索道事業は100円の収入を得るのに、200円の支出をしている。累積の借入額は1億2,000万円で、それ以前の繰入金総額は約5億円に達し、民間企業なら破たんしている。緊縮財政の中、行財政改革に町民が協力する中でスキ場巨額損失は許されることではない。経営から撤退し、新しい八千穂高原のビジネスモデルを発掘すべく方向転換を行うべき。

千曲病院や老人保健施設も経営状況は厳しいが、根本的な事業目的が異なり同一視には当たらない。

倉澤 治貴

反対

議案第15号 平成29年度一般会計予算

一部の特別会計に貸し付けたものの返済を、10年間繰延返済にすることにより、予算の外形の拡大を防ぐことは理解できるが、本質は何も変わっていない。これは「借金の先送り」であり、来年度以降また増加し、10年後には現状と同規模の償還が発生する形となる。

今回の処置は外形拡大防止の見た目重視の処置であり、本質が変わっていないことは明白。この繰延返済策は、将来仮に索道会計などに大きな決断があったとしても、その時の政治判断を待つための現実逃避と言っても過言ではないと思われる。

審査した予算項目に反対はないものの、以上のことから予算案に賛成はできない。退席をもって意思表示とする。

井出 正臣

退席

賛否が分かれた議案・案件		井出 正臣	高橋 康徳	高見 澤研二	佐々 木正雄	倉澤 陽一	倉澤 治貴	小宮 山雅則	岩崎 正孝	岡部 勝一	浅井 正昭	小林 守正	井出 清嗣	高見 澤春野	小林 武	議決結果
議案 第15号	平成29年度佐久穂町一般会計予算	退	○	○	○	○	■	○	○	○	/	○	○	○	○	可 決
議案 第23号	平成29年度佐久穂町索道事業特別会計 予算	○	○	○	○	○	■	○	○	○	/	○	○	○	○	可 決

※「○」は賛成、「■」は反対、「退」は退席

改選となった最初の6月定例会は
6月8日～6月20日を予定しています
一般質問は6月13日・14日を予定しております。

追跡 一般質問

そのあと、どうなった!?

役場庁舎候補地の検討は?

合併協議により庁舎については分庁方式とされ、現在も佐久庁舎・八千穂庁舎でそれぞれ業務が行われています。しかし両庁舎とも老朽化が進み、耐震性・防災拠点の機能や利便性等、また2箇所での業務を行っていることにより事務の効率が悪く経費も掛かっている状況です。

A-1	現佐久庁舎敷地（現庁舎跡地）における建替案
A-2	現佐久庁舎敷地（現庁舎南側敷地）における建替案
B	旧佐久西小学校における用途変更案（現有建物改修）

3月定例会最終日、議会全員協議会において、一般社団法人長野県建築士会から「佐久穂町庁舎候補地建設地等に関する調査業務」の報告がありました。

合併から10年以上が経ち、役場庁舎のあり方に関する議論も行われてきました。町からも示された「現庁舎と旧佐久西小学校の2カ所での検討」はどうなった。進捗があったので「追跡」してみました。

想定床面積は
職員150人として
約3,500㎡

総務省の庁舎に係る地方債同意等基準により算出すると3,500㎡となります。

現佐久庁舎敷地には、3階建てとして十分建設可能です。

また昨年1月実施のアンケート結果により最も多くの支持があった「旧佐久西小学校」も体育館渡り廊下を除いた有効床面積が3,450㎡となりこちらも建設可能（現有建物改修し用途変更）となっています。

3つの方法案が提案

以上のことから、現庁舎位置での建替提案2件と、旧佐久西小既存利用での提案1件の3案が示されました。

3案それぞれに長所と短所があります。

A-1・2案共通の問題として

- ①道路の整備
- ②地耐力の確認
- ③敷地内水路の整備
- ④浸水区域の対策
- ⑤借地の整理

A-1では

- ①仮設庁舎の費用
- ②引越越し2回の費用・手間が発生する。

A-2では

- ①北庁舎との連携が遠くなる。
- ②借地の取得が必要となる。

B案では

- ①埋蔵文化財包蔵地域のため、掘削する場合は発掘調査が必要。
- ②建築基準法の積載荷重によりスラブ補強が必要。

- ③耐震性能の向上のため補強が必要。（合わせて躯体の長寿命化改修が必要）
- ④省エネ法により、一定基準の省エネ改修が必要。

- ⑤現庁舎の後利用整備を計画する必要がある。等の課題があります。

一方、B案では佐久穂町I.Cと町の拠点の連携が、計画可能となる利点もあるとされました。

費用については?

あくまでも概算金額としてA案16億円、B案15億円と説明がありました。が庁舎

議会としては?

本体の建設費のみであり、事業費全体を表すものではなく、目安でしかありません。

庁舎問題については、過去一般質問で度々取り上げられ、町の考え方、庁舎のこれからの方針について議論をしてきました。

また「議会だより46号」誌上において全議員の庁舎に関する考え方を述べたところであります。

議会としては、今回の報告は、これから行われていく庁舎の場所、費用等の庁舎建設に関する議論をしていくための、あくまでも参考であると考えています。



検討される役場庁舎

球磨川や四万十川で「尺鮎」を

年間500匹以上の鮎を釣り上げることを目標に

アユ釣り名人 **佐々木 定男さん**



4月16日に町長を退任された佐々木定男さん。今後の夢と目標は何なのか。息子さんが育てた信州サーモンを食べながらお話を聞いてみました。

■町長のお勤め本当にお疲れさまでした。いきなりですが、今後のご予定は？

まずは田んぼや畑を耕すことですかね。もともとは農業をやる体だったのですがなまってしまいましたので、トレーニングをします。そして、何よりの趣味のアユ釣りに出かけてみたいです。少しでもプロに近づけるよう自分で納得できる技術を身に付けたいです。

■釣りは若い頃からの趣味ですか？

いやいや、酪農をやめて50歳を過ぎてから昔の同級生や、町内の方に教えてもらって始めました。趣味で

気の合う仲間の結束は固い。まさに「アユ釣りコミュニティ」ですよ（笑）。

■地元の川で釣りを？

大石川では釣りますが、残念なことに南佐久の千曲川には今、ほとんどアユがいません。佐久市の野沢橋



周辺や長和町の依田川、群馬県上野村の神流川まで出かけてます。

■年間どのくらい釣りあげたいですか？

4年前なら年間千匹と言えましたが、今は五百匹が

目標です。それよりも釣った時の手ごたえがたまりませんね。特に放流したアユではなく、天然のアユは釣るのが難しいんですよ。

■行ってみたい川ってありますか？

日本三大溪流の熊本県球磨川や高知県の四万十川で釣りをしてみたいですね。そこで30センチを超える「尺鮎（しゃくえつ）」や「くあゆ」を釣るのが目標です。

■住民として今後望むことは？

千曲川の水質を戻して、アユの釣れる川にしてみたいですね。いや、戻さないといけません。

そのためには、山の木ですよね。カラマツが合わないところにはナラやブナを植える。そうすれば山の幸も増えて、山に降って浄化された水が川に注ぎ、海に流れる。結局は、里山が全てを救って、育んでくれるんです。

柔らかな笑顔で語る話の中に、まだ町を案じる言葉が溢れます。老いてなお果たせる夢があるのならば、それを叶える町であることも佐久穂ら

しさではないでしょうか。定男さんが尺鮎を釣れる環境づくりと健康づくりも、私たちの使命です。（書き手 井出正臣）

議会だよりは変わったでしょうか

「議会だよりが読みやすくなった」という声が聞かれるようになりました。

デザインから内容に至るまで、全面的に見直すことに挑戦し、少しは住民のみなさんに分かりやすいものになったのではないかと感じています。

議会改革というのは、常に変革をことを意識して、初心に持った「地域のために」「住民のみなさまのために」ということを果たすことで成し得るものです。

まだ道半ばではありますが、議会だよりの改革はわずかでも出来たのではないかと自負しております。

若輩の委員長でしたが、支えていただいた委員の皆さんと、取材にに応じてくれたチヨー民の皆さんに心より感謝いたします。

2年間ありがとうございました。

広報編集調査特別委員会

委員長 井出 正臣
副委員長 岩崎 正孝
委員 小宮山雅則
委員 倉澤 治貴
委員 佐々木正雄
委員 高橋 康徳
事務局 高見澤浩之
事務局 青柳 鈴子

